



本年度は、昨年を上回る12回が見込まれ、県内ならではの観光地や盆栽など地域資源を生かしたツアーや歓迎行事を提案するなど誘致に取り組めます。

クルーズ客船の大型化に対応

高松港の整備については、サンポート高松では旅客船専用岸壁を2万トンから5万トン級対応に増強し、朝日地区コンテナターミナル用岸壁の、

12万トン級大型クルーズ船受け入れが可能になりました。



建設が進むリスボン港埠頭で、日本大使館職員と

企業設備投資への支援

●優良企業の立地を積極的に進め、若い世代のための安定した雇用の確保。

問：「香川ものづくり産業振興計画」に基づき昨年度まで目標企業立地は100件に対し、140件の

企業立地が進んでいます。

7月には「地域未来投資促進法」が施行され、本県でも新

たな基本計画が策定されると聞いていますが、策定状況を問う。

答：（知事）新たな基本計画については、製造業・物流業等への支援を引き続き行えるよう、「香川県成長ものづくり分野等における基本計画（案）」として作成し、8月末に全市町と共同で国に申請したところです。

平成34年度までを計画期間として製造業等の付加価値額を現在の水準を維持することを目標としています。

このほか、観光分野では別の基本計画として今年度中に策定したいと考えています。

設備投資支援では、助成要件の一部見直しなど、県事情・企業ニーズに対応した支援制度として検討したい。

企業立地用地の確保については、今年度「企業立地用地確保事業」を新

規事業として立ち上げ、市町と連携し、候補地を抽出しているところだ。



●今般の北朝鮮情勢、弾道ミサイル落下等を想定した住民の避難訓練は？

北朝鮮情勢を踏まえた対応は

問：弾道ミサイルなどによる武力攻撃への対応方針について、県民の生命と財産を守る観点からどのように対応するのか。

答：（知事）今般、「都道府県国民保護担当課長会議」が開催され、Jアラートによる情報伝達について、機器のテスト、訓練の実施等の要請があり、本県では各市町との連絡

体制を再確認したところです。

今後県民に対しては、「適切な対応」の周知に努め、12月9日には、香川大学林町キャンパスにおいて国、高松市と連携し、弾道ミサイルの落下を想定した住民の避難訓練を実施することになっています。引き続き事前の対策に万全を期して参りたい。